

(活動報告書様式)

団体名	NPO法人 おうらの里おおやま再生プロジェクト		
事業名	庄内砂丘産チューリップ園復活と庄内砂丘の環境整備事業		
助成事業区分	協働助成事業 (テーマ希望型) 循環型社会づくり団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	鶴岡市	事業費	500,000円
		うち助成金額	450,000円



写真①



写真②



写真③

#### ■ 事業目的

当NPOでは、平成28年10月に閉館されたいこいの村庄内のチューリップ園で放置状態にあった10万球の庄内砂丘産チューリップのうち3万球を、200名のボランティアの参加を得て掘り起こし、庄内浜の漁港を悩ませていた漂着枯葉

を堆肥化したものを活用して畑の造成に取り組んできました。掘り起こした球根約3万球のうち、2万球を譲り受け、移植地を庄内砂丘地に求め、庄内チューリップのブランド復活と循環型社会を学ぶ生きた教材として、コミュニティガーデンの造成を目指してきた。

#### ■ 実施内容

##### ①球根の植え付け

県より譲り受けた球根2万球の中から5千球をコミュニティガーデンに取り組む町内会に配布するとともに、NPOとしてもブランドの保存という目的で、鶴岡市七窪地内の畑250坪(阿部一郎氏所有)を借用し(写真①)、養生することにした。栽培指導と管理の3協力農家として、阿部氏をはじめ、中西氏、今野正一氏など地区内三軒の農家やJA鶴岡西郷支所、堆肥利用組合、機械利用組合などの支援で植え付けを行った。作業にあたり、今春参加いただいたボランティアを中心に、植付作業もボランティアで取り組んできました。

②三瀬自治会など(写真②)県内の自治会や観光協会などの協力を得ながら、県内

10か所で、チューリップを活用したコミュニティガーデンを造るために球根を配布した。

③庄内砂丘産チューリップに寄せる庄内地域の住民の意識は高く、循環型社会の学習はもとより、将来にわたりこれが地域資源になるよう、SNSなどで情報発信した。

#### ■ 事業の成果と今後展望

##### ① 事業の成果

庄内砂丘産のチューリップは、砂丘メロンとともに、庄内砂丘を代表する地域資源であることから、引き続き地域資源であることの広報に努めるとともに、漂着枯葉の再利用についても、海と砂丘という関連から、広く県民に紹介し、持続的にこの肥料の使い方について広報していきたい。

##### ②今後の展望

写真③のように、平成30年春以降、さらなるコミュニティガーデンの掘り起こしと秋の植え付けというノウハウを確立することで、翌年以降も、庄内チューリップを核とした地域のコミュニティを大きなものに形成していきたいと考えている。